

栃木放送平成 28 年度第 9 回 2 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 29 年 2 月 9 日（木）午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名
出席委員 4 名
欠席委員 5 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	太 田 照 男
	委 員	高 橋 幸 裕
	委 員	大 島 幸 雄
局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作局長待遇	川 島 育 郎

4 議 題

(1) 「栃木放送交通安全 50 周年キャンペーン」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「栃木放送交通安全 50 周年キャンペーン」について

試聴番組：1 月 23 日（月）に放送した番組を予め試聴

議題説明：報道制作局長待遇・川島が番組の概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

○キャンペーンのコンセプトが見えない。去年の秋から実施しているということだが、これまでどうやってきたのか、今後どうやっていくのかが見えなかった。1 カットだけの試聴だったが、高齢者の死亡事故の多発、免許返上問題などへの突っ込んだ取材がほしかった。

- これからどういう企画をやっていくのか、番組内で紹介するとい
い。
- 学校の取り組み、子どもたちの思いなど、様々な角度から取材し
てほしい。
- 50 年前とは違い、今は高齢化の問題が大きな課題だ。どういう
方向で取り組むのかをはっきりさせてほしい。
- テーマを絞って、いろいろな観点から議論できるような番組にし
てほしい。
- 道路などハードの問題、マナーの悪さなどの啓蒙も必要。
- 企画は的を射ていると思う。もっと課題を掘り下げて取り組んで
ほしい。
- 放送時間を朝・午後・夕方の通勤時間にするなど聞かせ方を工夫
したほうがいい
- リスナーの声を基に番組を展開するのも面白い。
- 報道的な要素を交えて企画をどんどん進めてほしい。
などの意見が出された。当社としてはこれらの意見を参考に
今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成 28 年度第 10 回 3 月期の審議会を 3 月 17 日（金）に開くことを
決め、閉会した。

6 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。